

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

横浜市立嶮山小学校

TEL: 902-7161,7162

FAX: 904-4254

平成 28 年 11 月 30 日

嶮山小通信

12月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代



ふるさととは、「このまち」

校長 山口 昭代

朝、あざみ野駅でブルーラインを降り、すすき野一丁目に向かうバスを待っているわずかな時間に、張りつめたような気温の低さと、吹く風の冷たさを感じることも、とても多くなりました。

南区の私の自宅から約25キロ離れた嶮山小学校は、やはり横浜北部に位置する地域であることに改めて気づかされます。

それゆえに、朝夕と昼間の寒暖差がもたらす、自然の贈り物なのでしょうか。紅葉した木々の鮮やかな美しさには、まさに目を奪われます。緑と橙と赤と黄。それらが混在しながら、高木らしく、力強い華やかさを主張し、見上げれば、背景は空の水色と雲の白。本当に美しい風景です。この横浜で、これほどまでに色づいた紅葉を、毎日のように目にすることができる自然の恵みをもつ地域は、それほど多くはないでしょう。

そして、人々は、一年の中のこの最も実りを感じる美しい季節に、『すすき野町内会地区運動会』『ふれあいフェスティバル2016』『けやき祭り』『もみのきフェスタ』『嶮山公園ソフトボール大会』『中央自治会秋祭り』『第二団地自治会餅つき大会』そして、『PTA 主催のWAIWAI フェスタ』『嶮山公園・すすき野公園・北公園・南公園地域清掃』等、多くのイベントや地域行事を計画し、熱心な準備を進めてくださいました。お世話になりました。

きっといつでも「誰か」を心に浮かべて、親睦を深められるように、旧交を温め合えるように、喜んでもらえるように、楽しさを分かち合えるように、と、そこには本物の《おもてなしの心》と、《「人」が紡ぎ出す温かさ》があふれていました。

保護者や学校の先生たち以外の大人が、子どもたちの姿に寄り添い、見守り、声をかけ、ほめてくださる、その微笑みや笑顔の分だけ、子どもたちは未来に向かって『人』を受け入れたり、共感したり、信じたりする気持ちを、ひいては、『人』とかかわろうとする力を、しっかりと育むのだと思います。成長し大人になって、自分がこのまちをふるさとだと感じた時に、今度は「自分がこのまちを支え、つくり、継承していく役割を担うのだ」と思える希望に満ちた未来を描きながら、私たち教職員も毎日の教育活動に励んで参りたいと思っています。ふるさととは「このまち」。それはこの地域の嶮山小学校で働く私たちの合言葉でもあります。

保護者、地域、関係のみなさま、今月もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。平成28年、みなさま方に、大変お世話になり感謝申し上げます。ありがとうございました。